



春夏秋冬、自然の恵みを受けた茅葺きの宿
美山ハイマートユースホステル

風光明媚な山里、京都府南丹市美山町にあるユースホステル。江戸時代に建てられた民家を移築・改修した、趣ある建物が特徴だ。豊かな自然環境の中で、ゆったりとした時間を過ごせる。京都市内からは、車で約1時間半。本数は少ないものの、JR山陰本線「和知」駅からバスでのアクセスも可能で、南丹市営バス「育成苑前」下車徒歩1分という立地だ。



〒601-0775 京都府南丹市美山町小淵中才57
 電話：0771-75-0997
 URL: <https://miyama-heimat.com/>

Youth Hostel Pick up

山々に抱かれたかやぶき家屋で
 ほんと安らぐみんなの「ふるさと」

美山ハイマートユースホステル



リノベーションされた館内は、モダンな雰囲気でもベッドの洋室も。ちなみにお手洗いは洋式です。



趣のある和室は外国人旅行者にも大人気。縁側からの景色を見ながら、のんびり過ごしたひとときが、思い出に残っていたりするもの。



優しい笑顔で迎えてくれる、足利栄治さん・美智恵さんの夫妻。

■ **歴史が紡いだ農山村の文化が今なお息づく、美山の風景**

京都・丹波地方にある南丹市美山町。福井県の若狭湾で獲れた鯖などの海産物を京都まで輸送する「西の鯖街道」の中継地としてにぎわい、峠を越えて往来する人々がひとときの休息をつく街だった。

美山町は900m級の山々に囲まれ、若狭湾に注ぐ一級水系・由良川の源流が流れる山紫水明の地。冬は多くの積雪に見舞われる豪雪地帯でもある。雄大な自然の中で受け継がれてきた農山村の文化を今に伝えるのが、北地区にある「美山かやぶきの里」だ。山あいに39棟ものかやぶき民家が立ち並ぶその景観は、いわば日本の原風景。1993年には、国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定された。

今回訪れたのは、京都府美山町の大野地区にある「美山ハイマートユースホステル」。宿の名にもなっている「ハイマート(Heimat)」は、ドイツ語で「ふるさと」を意味する。まさにふるさとの親類のように迎えてくれたのが、マネージャーの足利栄治(あしかが・えいじ)さんと、妻の美智恵(みちえ)さん。昔話の世界に迷い込んだかと錯覚するような、見事なかやぶき屋根の建物は、隣接する旧・京北町(現・京都市右京区京北地区)にあった、築200年のかやぶき民家を移築・改修したもの。4つの客室のうち、2部屋は縁側を備えた和室、もう2部屋は畳ベッドタイプ。すべてを借り切って3世代で宿泊したり、別荘代わりに利用する人も多いのだとか。今回は、足利さんがたどってきた旅の軌跡や、35歳で独立して自らユースホステルをオープンさせるまでのストーリー、まもなく30周年を迎えるユースホステルの今後などについて伺った。

■ **鉄道で巡ったユースホステルでつながった、さまざまな出会い**

京都市で生まれ育った足利さん。中学生の頃に兄からユースホステルでの旅の土産話を聞き、旅への憧れを強くした。高校生になると、根からの鉄道好きも手伝って、自然な流れで旅へ出かけるように。訪れる先での拠点はいつも、ユースホステルだった。「高校のとき、自転車好きの友人とつくも湾ユースホステル(現:能登漁火ユースホステル)へ行きました。5万分1地形図を片手に、僕は鉄道と徒歩、友人は自転車でそれぞれ行きたいところを巡るんです。夜はユースホステルに戻って、同じ部屋の人も交えてその日の出来事話をするのが楽しかったですね」大学時代は、当時の国鉄が発売していた「周遊券」を手に、ローカル線で北海道をぐるりと一周。社会人になってからも、移り変わる車

窓からの風景とユースホステルでの出会いを楽しみに、鉄道旅を続けた。そんな足利さんに転機が訪れたのは、30歳を目前に体調を崩し、勤務先を退職したときだった。「当時、地元・京都の京都市宇多野ユースホステルで語学ボランティアを募集していたんです。外大でドイツ語を専攻して、フランクフルトで仕事をした経験もあったので応募。ドイツ語圏のゲストに、市内の名所を案内するようになりました。フランクフルトで出会ったドイツ人と偶然の再会を果たしたり、いろいろなご縁に恵まれましたね」ボランティアを通してユースホステルの仕事に興味を持った足利さんは、日本ユースホステル協会の職員に。東京代々木ユースホステルや長崎の平戸ユースホステルでスタッフとして働いていた。そんなある日、高校時代に共に旅をした自転車好きの友人と、久々に食事をしてたときのこと。

『自分でユースホステルやらの?』と言われて(笑)。そう背中を押してくれたこともあって、開業を考えるようになりました」

■ 友人の一言をきっかけに、幼少の頃親しんだ美山で開業

自らユースホステルを開くことを決めた足利さんがイメージしていたのは、小さなユースホステルだった。

「大きなユースホステルよりも、家庭的な雰囲気の方がいいなと思っていました。思い浮かべたのは、林の中に佇む長野県の上田まほろばユースホステル。そのマネージャーさんにも『こじんまりとした部屋がいくつかあるような宿がいいと思うよ』とアドバイスをもらいました」

足利さんの地元京都府内で候補地を探しているときにも、前出の友人が助言をくれた。

『京都やったら、田舎がええよ』と。そしたら、小さな頃叔父が連れて行ってくれた美山の景色が浮かびました。幼心に『京都にもこんな自然豊かなところがあるんや』と心動かされた場所だったんです。天橋立や福井の小浜に行くのも便利な場所ですが、周辺には当時ユースホステルがなかったので、美山に決めました」

困難を極めたのは、物件探し。美山の顔であるかやぶき家屋であること、自身の旅の経験もあり、鉄道・バスでアクセスできる場所を条件としていたが、なかなか適した場所が見つからなかった。

「何か月もかけて、ようやくバス停からすぐの今の場所が見つかり、『うちのかやぶき家屋を使ってくれないか』という旧・京北町の方にも出会えました。地元の職人さん方の力を借りて、建物の壁土を取って筋引きをした上で移築。構想から1年半後の1994年夏にオープンに漕ぎつけました」

新たな土地で始まった、たった一人の挑戦。足利さんは近所の方一人ひとりの名前を覚えることからスタート。時には他のユースホステルを営む先輩マネージャーたちにも相談しながら、運営を少しずつ軌道に乗せていった。

かやぶき屋根を中から見学する屋根裏ツアーは大人気。夏休みの自由研究にもオススメです！



次に来的时候には「ただいま」と言うに違いない。そんな「みんなのふるさと」を美山で見つけた。



訪れたらぜひ食べてほしいのが「地鶏のすき焼き」と「ぼたん鍋」。どちらも期間限定なので、予約の際には確認を。



談話室を兼ねた食堂はほっと一息つける雰囲気。京番茶がいつでも飲めるように用意されているのが嬉しい。

■ 豊かな自然と手作りの料理を味わい、ほっと一息つける宿

開業からまもなく30年。足利さんは、宿泊客として訪れたことがきっかけで結婚した美智恵さんと二人三脚で、多くの旅人をもてなしている。

「自慢はとにかく豊かな自然環境。水も空気も本当にきれいな、ほっと一息つける場所です。特に夏場は、田んぼに棲むホテルが近寄ってきて、ユースホステルのスタッフのようにおもてなししてくれるんですよ(笑)」

そのホテルが舞う水田で育ったお米をはじめ、美山の食材を生かした食事も好評だ。旬の味わいをちりばめた「美山御膳」のほか、美山の平飼地鶏でつくる「地鶏のすき焼き」、地元猟師が仕留めたイノシシを使った「ぼたん鍋」など、地産地消の品々がそろそろ。身体にも心にも優しい、手作りの料理を目当てに訪れるリピーターも多い。

「ハンモックでくつろいでもらったり、かやぶき屋根の裏側を巡る『屋根裏ツアー』を開催したり、小さい宿ならではの良さを感じてもらえたら嬉しいですね」

そう目を細める美智恵さんは、2020年からのコロナ禍で改めて感じたことがあるという。

「新型コロナの流行が続いていたときは、お客さまがみんな私たちのことを気にかけてくれて…。『元気でやってる?』と20数年ぶりに泊まってくださる方も多かったんです。そんなゆるいつながりを持っていることに、本当に感謝です」

目下の目標は、そんなゲストとのつながりを大切にしながら、この宿を20年先まで続けていくことだというお2人。最後にこう語ってくれた。

「たまに来る場所で、たまに会う人だからこそ話せることってありますよね。ここを訪れる皆さんがひと休みできて『このままの自分でいいんだ』と再確認できる。そんな場所であり続けたいと思っています」

A レストラン 芦生



写真提供: (一社)南丹市美山観光まちづくり協会



道の駅美山ふれあい広場のすぐそばにある、地元で愛される老舗レストラン。手作りのソースやドレッシング、カレーウを使った、味わい深い料理を提供している。ジューシーな鶏の照焼きや唐揚げは特に人気なんだとか。

南丹市美山町安掛寺の下17
TEL:0771-75-1022

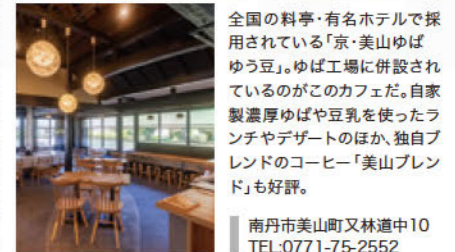
B 美山のめぐみ 牛乳工房



町内の牧場で搾乳された新鮮な「美山牛乳」をふんだんに使った乳菓・冷菓のお店。低温殺菌牛乳でつくる「美山牛乳ソフト」や、10種類以上から選べる「美山牛乳ジェラート」のほか、プリンやシュークリームなど絶品ぞろいだ。

南丹市美山町安掛下23
TEL:0771-75-0815

C Beans cafe.miyama



全国の料亭・有名ホテルで採用されている「京・美山ゆばゆう豆」。ゆば工場に併設されているのがこのカフェだ。自家製濃厚ゆばや豆乳を使ったランチやデザートのほか、独自ブレンドのコーヒー「美山ブレンド」も好評。

南丹市美山町又林道中10
TEL:0771-75-2552



南丹市美山町ってこんなところ! /

2006年に團部町・八木町・日吉町と合併し、南丹市を構成している美山町には、約3,400人が暮らす。多様な動植物が生育・生息する「京都大学芦生研究林」(約4,200ヘクタール)をはじめ、豊かな自然環境を誇るこの町。2016年には、このページで紹介した「大野ダム公園」や「美山 かやぶきの里」を含めた全域が「京都丹波高原国定公園」に指定された。大阪・京都方面からは、京都縦貫自動車道・團部ICが便利。府道19号を経由して40分ほどで美山町の中心部にたどり着ける。

南丹市美山町おすすめ SPOT

D 里のごほうびみやま堂



美山や周辺の素材を生かしたさまざまな商品を扱うセレクトショップ。地域で大正時代から親しまれてきた商店を改修し、2023年3月にオープンした。地元産の木炭で香ばしく焼き上げた名物「炭焼きやきいも」はぜひ味わって。

南丹市美山町安掛寺ノ上14
mail: miyamadou310@gmail.com

E 美山 かやぶきの里



写真提供: (一社)南丹市美山観光まちづくり協会

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された、美山を象徴する観光スポット。農山村の暮らしを学べる「美山民俗資料館」や食事処、カフェなどが点在している。集落を巡るプライベートガイドツアー(事前予約制)もおすすめ。

南丹市美山町北
TEL:0771-75-9030
(一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会<水曜定休>)

F 大野ダム公園



町を東西に流れる美山川にある大野ダム。その美しさから「虹の湖」と称されるダム湖にあるこの公園には、多目的広場や散策路が整備されている。春には約1,000本の桜、秋には約500本の紅葉が、訪れる人を魅了している。

南丹市美山町檜原中野山
TEL:0771-75-9110
(大野振興会)



抽選で **ペア宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmq>

応募〆切:2024年2月末日

※当選者にはご応募時にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.35



Cover Interview

野口聡一

「宇宙」の視点を持たば、
解決策が見えるはず

P.02



Youth Hostel Pick up

美山ハイマート
ユースホステル

山々に抱かれたかやぶき家屋で
ほっと安らぐみんなの「ふるさと」

P.08



Hostelling Magazine

× 地球の歩き方

巨匠オスカー・ニーマイヤーの
建築物を巡る
ブラジル

P.12



PLATZ

P.16



oshiete! 旅GIRL

P.17



松島むらの
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE
ユースホステルガイド
東海/近畿地方

P.20



Hostelling Magazine vol.35
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2023年12月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地に確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。